

安全で健康・快適な職場づくりに向けて

愛媛県内の労働災害の発生状況をみると、関係者の努力にもかかわらず、令和2年の休業4日以上死傷件数は1,552件で、前年に比べて62件、4.2%の増加に転じ、死亡災害は5名減少したものの、11名の尊い命が失われました。

令和3年においても同死傷件数は8月末現在で965件と、前年同期に比べて133件、16.0%増と増加傾向が続いており、死亡災害は2名減少したものの、既に6名の方が亡くなっています。

一方、労働者の健康状況をみると、定期健康診断の結果、何らかの所見を有する労働者の割合は年々上昇しており、令和2年は57.7%と6割近くなっています。また、仕事や職場生活に不安やストレスを感じる労働者の割合も半数を超える状況にあります。

このような状況下、愛媛第13次労働災害防止推進計画の4年目となる今年、同計画の労働災害減少目標を達成するのは容易ではありませんが、まずは目標に近付けるため最大限の努力を傾けなければなりません。

高齢化の進展や高ストレス社会を迎え、安全で健康・快適な職場を作るためには、エイジフレンドリーガイドラインの実践、過重労働による健康障害防止対策、働き方改革の推進、職場におけるメンタルヘルス対策及び治療と仕事の両立支援対策等は極めて重要な取り組みデータです。

更には、新型コロナウイルス感染防止対策も引き続き求められます。

産業の場においては、いかなる状況下にあっても、労働者の安全と健康の確保は最優先されるべき課題です。

課題克服のためには、トップが率先して、スローガンの「つなげよう未来へ 続けよう安全衛生活動」の趣旨に沿った方針を示し、全ての関係者が共通認識に立ち、労使一丸となった不断の努力が必要です。

このWeb大会を契機として、労使の関係者一人ひとりが、それぞれの職場において、それぞれの立場で「安全で健康・快適な職場づくり」に取り組みましょう。

令和3年10月

愛媛産業安全衛生大会 Web 大会